



# 沖縄地区税関 管内貿易概況（速報） 令和3年2月分

（増減・伸率は対前年同月比）

## ●今月のポイント

### ●輸出

・輸出総額は13億38百万円、対前年同月比55.7%減（2ヵ月ぶりの減少）

・主な減少品目は「一般機械」（▲90.4%）、「輸送用機器」（▲67.2%）、「魚介類及び同調製品」（▲65.6%）

（主な増加品目は「金属鉱及びくず」（2.5倍）、「パルプ及び古紙」（72.4%）、「精密機器類」（9.1倍））

・国（地域）別構成比は台湾（26.2%）、シンガポール（15.2%）、ベトナム（14.6%）、韓国（11.7%）、香港（8.4%）

### ●輸入

・輸入総額は72億95百万円、対前年同月比13.4%減（5ヵ月連続の減少）

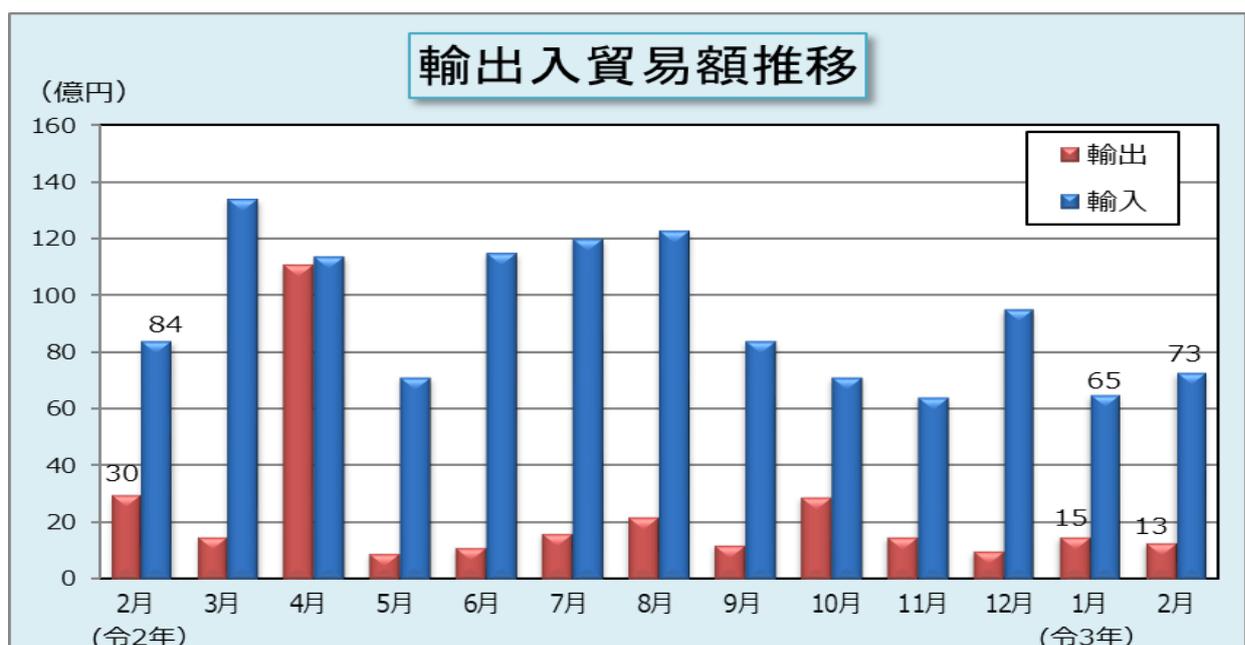
・主な減少品目は「石油製品」（▲63.4%）、「石炭」（▲52.3%）、「穀物及び同調製品」（▲78.0%）

（主な増加品目は「一般機械」（4.8倍）、「肉類及び同調製品」（40.1%）、「その他の雑製品」（56.6%））

・国（地域）別構成比はドイツ（17.6%）、中国（15.0%）、韓国（13.7%）、アメリカ（10.8%）、インドネシア（6.5%）

### ●差引

・差引額は59億56百万円の入超（前年同月は53億96百万円の入超）



## 1. 輸出動向

### (1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 金属鉱及びびくず (4億16百万円、2.5倍)	31.1%	台湾(1億67百万円、2.5倍) ベトナム(1億51百万円、全増)
2 一般機械 (2億12百万円、▲90.4%)	15.9%	韓国(70百万円、65.9倍) 台湾(41百万円、▲97.9%)
3 パルプ及び古紙 (1億40百万円、72.4%)	10.4%	台湾(78百万円、2.9倍) インドネシア(27百万円、▲35.9%)
4 再輸出品 (1億38百万円、36.3%)	10.3%	シンガポール(1億5百万円、5.8倍)
5 飲料 (1億11百万円、85.6%)	8.3%	台湾(33百万円、2.9%) 中国(21百万円、全増)
<p><b>増加品目(増加額・伸率)</b> <span style="float:right">主な増加国(地域)</span></p> <p>1 金属鉱及びびくず(+2億46百万円、2.5倍) <span style="float:right">ベトナム、台湾</span></p> <hr/> <p>2 パルプ及び古紙(+59百万円、72.4%) <span style="float:right">台湾、韓国</span></p> <hr/> <p>3 精密機器類(+52百万円、9.1倍) <span style="float:right">シンガポール、韓国</span></p> <hr/> <p><b>減少品目(減少額・伸率)</b> <span style="float:right">主な減少国(地域)</span></p> <p>1 一般機械(▲19億89百万円、▲90.4%) <span style="float:right">台湾、アメリカ</span></p> <hr/> <p>2 輸送用機器(▲58百万円、▲67.2%) <span style="float:right">台湾、タイ</span></p> <hr/> <p>3 魚介類及び同調製品(▲41百万円、▲65.6%) <span style="float:right">グアム、ベトナム</span></p> <hr/>		

### (2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 台湾 (3億51百万円、▲84.2%)	26.2%	金属鉱及びびくず(1億67百万円、2.5倍) パルプ及び古紙(78百万円、2.9倍)
2 シンガポール (2億4百万円、2.6倍)	15.2%	再輸出品(1億5百万円、5.8倍) 精密機器類(45百万円、全増)
3 ベトナム (1億96百万円、5.7倍)	14.6%	金属鉱及びびくず(1億51百万円、全増) 一般機械(23百万円、24.9%)
4 韓国 (1億57百万円、2.4倍)	11.7%	一般機械(70百万円、65.9倍) 金属鉱及びびくず(40百万円、8.1%)
5 香港 (1億13百万円、▲33.0%)	8.4%	肉類及び同調製品(51百万円、32.9%) 穀物及び同調製品(19百万円、▲2.4%)

## 2. 輸入動向

### (1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 一般機械 (15億56百万円、4.8倍)	21.3%	ドイツ(12億57百万円、48.9倍) アメリカ(1億35百万円、28.2%)
2 石油製品 (8億59百万円、▲63.4%)	11.8%	韓国(8億57百万円、▲63.2%)
3 肉類及び同調製品 (7億68百万円、40.1%)	10.5%	デンマーク(3億2百万円、2.8倍) タイ(1億19百万円、▲14.5%)
4 石炭 (6億59百万円、▲52.3%)	9.0%	インドネシア(4億2百万円、▲15.7%) アメリカ(1億85百万円、全増)
5 その他の雑製品 (5億82百万円、56.6%)	8.0%	タイ(1億48百万円、563.2倍) フランス(1億35百万円、92.4%)
<p><b>増加品目(増加額・伸率)</b> <span style="float:right">主な増加国(地域)</span></p> <p>1 一般機械(+12億33百万円、4.8倍) <span style="float:right">ドイツ、オーストラリア</span></p> <hr/> <p>2 肉類及び同調製品(+2億20百万円、40.1%) <span style="float:right">デンマーク、アイルランド</span></p> <hr/> <p>3 その他の雑製品(+2億11百万円、56.6%) <span style="float:right">タイ、フランス</span></p> <hr/> <p><b>減少品目(減少額・伸率)</b> <span style="float:right">主な減少国(地域)</span></p> <p>1 石油製品(▲14億87百万円、▲63.4%) <span style="float:right">韓国</span></p> <hr/> <p>2 石炭(▲7億22百万円、▲52.3%) <span style="float:right">オーストラリア、インドネシア</span></p> <hr/> <p>3 穀物及び同調製品(▲3億71百万円、▲78.0%) <span style="float:right">タイ、アメリカ</span></p> <hr/>		

### (2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 ドイツ (12億84百万円、19.1倍)	17.6%	一般機械(12億57百万円、48.9倍) 金属製品(11百万円、12.7倍)
2 中国 (10億93百万円、23.2%)	15.0%	家具(1億58百万円、11.0%) 電気機器(1億52百万円、11.1%)
3 韓国 (10億2百万円、▲60.7%)	13.7%	石油製品(8億57百万円、▲63.2%) その他の雑製品(38百万円、4.9%)
4 アメリカ (7億85百万円、6.4%)	10.8%	石炭(1億85百万円、全増) 一般機械(1億35百万円、28.2%)
5 インドネシア (4億77百万円、▲26.8%)	6.5%	石炭(4億2百万円、▲15.7%) 木製品及びコルク製品(除家具)(26百万円、▲69.6%)

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。  
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
  - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
  - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査統計課  
沖縄県那覇市港町 2-11-1 那覇港湾合同庁舎 3階  
TEL. 098-862-9650

